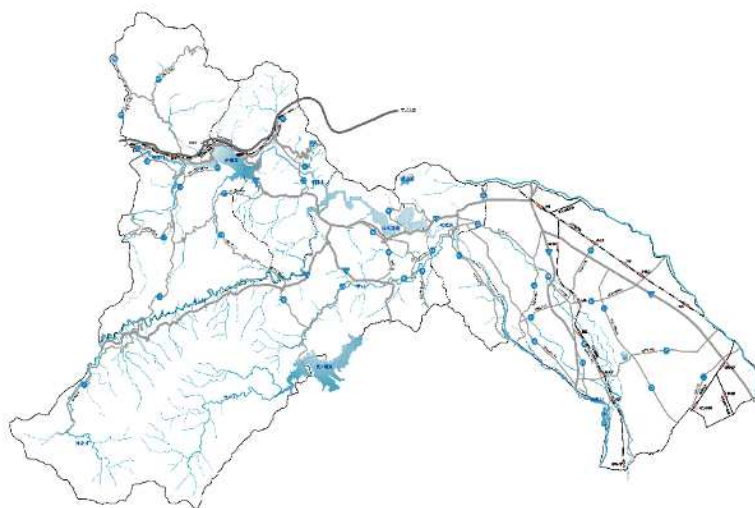


# 第3次相模原市観光振興計画 概要版(案)

「ひと・まち・自然・文化が奏でる観光交流都市 さがみはら」

～住んでよし、訪れてよしのさがみはらを目指して～





# 計画の目指すもの

地域の再生や活性化の有力な手段として「観光」に対する期待が高まっており、長引く経済の低成長や、訪日外国人観光客の増加などを背景として、国内外の観光客の獲得に向けた、都市間の競争が激しくなっています。

本市は、都市のにぎわいに加え、自然、歴史・文化等の多様な地域資源を有する都市であります。他都市との差別化を図る上でも、今までの計画に新たな視点を加えた施策の検討が必要となっています。

これらの状況を踏まえ、今後の本市における観光振興の取組とは、シティプロモーションと持続可能な地域づくりに資するものでなければならないと考えています。

幅広い多種多様な地域の人や組織と連携しながら、地域にある様々な資源を活用して誘客を図ることで、産業の発展、雇用の創出につなげるとともに、国内のみならず、いわゆるインバウンド効果を取り込みながら、海外も含めた交流人口を増やすことを目的として、取り組む必要があると考えています。

## 観光振興に取り組む目的

### 観光による交流人口の増加

地域経済の活性化（産業の発展・雇用の創出へ）

#### 基本理念

「ひと・まち・自然・文化が奏でる観光交流都市 さがみはら」  
～住んでよし、訪れてよしのさがみはらを目指して～

## 目指すべき将来像

国内外からの交流人口の増加に伴う、既存産業の発展や新たなビジネスチャンスの創出によって、地域経済の活性化が促進されている。

地域団体や住民、事業者などが自ら楽しみつつ、観光の担い手となって誘客・交流の取組に参画している。

観光客との様々な交流によって、市民が自分たちの暮らす地域の魅力や価値に改めて気がつくことで、シビックプライドの醸成が図られている。

## 基本方針

目指すべき将来像を実現するための方向性を示します。

### 基本方針 1

#### 「魅力的な観光コンテンツづくり」

現在、各地域で行われているガイドツアー、体験型プログラム等について磨き上げを行い、本市を訪れたいくなるような魅力的な観光コンテンツづくり（観光商品化）の取組を進めます。あわせて、イベント事業についても更なる磨き上げを進めます。

### 基本方針 2

#### 「地域主導型の推進体制づくり」

観光協会や地域住民、観光関連事業者、行政など観光振興に関わる各主体の役割を明確にし、相互の連携を図り一体となった体制づくりに取り組むとともに、観光人材育成・確保に係る取組を進めます。

### 基本方針 3

#### 「観光客の受入環境整備の推進」

観光施設について、統廃合を含め計画的な整備を推進します。なお、整備に当たっては、バリアフリー対応（外国人対応を含む。）に配慮し、観光客が訪れたいくなる・魅力を感じるような受入環境の整備を図ります。

### 基本方針 4

#### 「効果的な情報発信」

観光コンテンツにおけるターゲット設定や、ターゲットに対する有効な媒体についてのマーケティング視点を持ち、これらを踏まえた戦略的な情報発信とプロモーションに取り組めます。

### 基本方針 5

#### 「広域的な連携の推進」

現在、近隣市との連携の下、各市の持つ観光資源を集約して発信することで注目度を高めるなど相乗効果を狙ったプロモーションに取り組んでいるところです。今後もこうした近隣自治体等との連携体制を強化するとともに、新たな連携体制の構築を図ります。

### 基本方針 6

#### 「MICE誘致・開催支援による観光振興」

宿泊やアフターコンベンションなど通常の誘客よりも大きな経済効果が期待できるMICEについて、誘致及び開催支援組織の育成に取り組めます。

### 基本方針 7

#### 「各種ツーリズムの推進」

観光客のニーズが多様化する中、スポーツ、芸術、歴史等も含め、様々なものを観光資源として捉えていく必要があり、本市が持つ多様な資源を生かした各種ツーリズムの推進に取り組めます。あわせて、2020年東京オリンピック競技大会における自転車ロードレース競技のコースの一部が、本市緑区内に設定されており、これを契機として自転車を活用した観光振興に取り組めます。

### 基本方針 8

#### 「多様な産業との連携による観光交流の創出」

農林業、商業・サービス業、工業等、様々な産業との連携による観光施策を推進し、本市の魅力を生かす・発信することで、国内外からの訪問客を増やし、新たな産業の創出につなげます。また、リニア中央新幹線の駅設置及び車両基地の建設などのプロジェクトの進展に合わせ、それらを生かした観光交流拠点の創出について検討を進めます。



# 計画の実現に向けて

基本方針に基づき、次の施策を展開します。

また、基本方針ごとにSDGsのアイコンを次のとおり配置します。

<p>基本方針 1</p>  <p>「魅力的な観光コンテンツづくり」</p>	<p>施策 1-1 観光コンテンツの開発・商品化に向けた取組            施策 1-2 イベント事業の更なる磨き上げ            施策 1-3 魅力ある地域特産品づくり</p>
<p>基本方針 2</p>  <p>「地域主導型の推進体制づくり」</p>	<p>施策 2-1 地域の観光振興をけん引する人材育成</p>
<p>基本方針 3</p>  <p>「観光客の受入環境整備の推進」</p>	<p>施策 3-1 長期的な視点に立った観光施設の整備・維持管理            施策 3-2 観光ホスピタリティの向上            施策 3-3 観光交流の促進に向けた交通環境・基盤の整備</p>
<p>基本方針 4</p>  <p>「効果的な情報発信」</p>	<p>施策 4-1 ターゲットに合わせた情報発信            施策 4-2 観光情報発信基盤の整備            施策 4-3 市民自らの情報発信の促進</p>
<p>基本方針 5</p>  <p>「広域的な連携の推進」</p>	<p>施策 5-1 広域連携による観光振興</p>
<p>基本方針 6</p>  <p>「MICE誘致 ・開催支援による観光振興」</p>	<p>施策 6-1 MICE振興に係る方向性等の検討            施策 6-2 会議等の誘致、開催支援の実施            施策 6-3 観光への波及効果を高める取組の実施</p>
<p>基本方針 7</p>  <p>「各種ツーリズムの推進」</p>	<p>施策 7-1 多様なニーズに対応した観光プログラムの提供            施策 7-2 オリンピックレガシーの観光資源としての活用</p>
<p>基本方針 8</p>  <p>「多様な産業との連携による観光交流の創出」</p>	<p>施策 8-1 産業の垣根を越えた連携体制の確立            施策 8-2 大規模プロジェクトの進行に合わせた観光振興</p>

+

各エリアにおける基本方針（9つのエリアの観光振興の方向性）

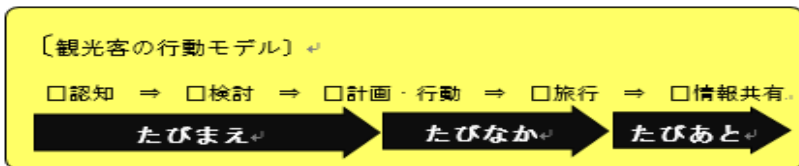
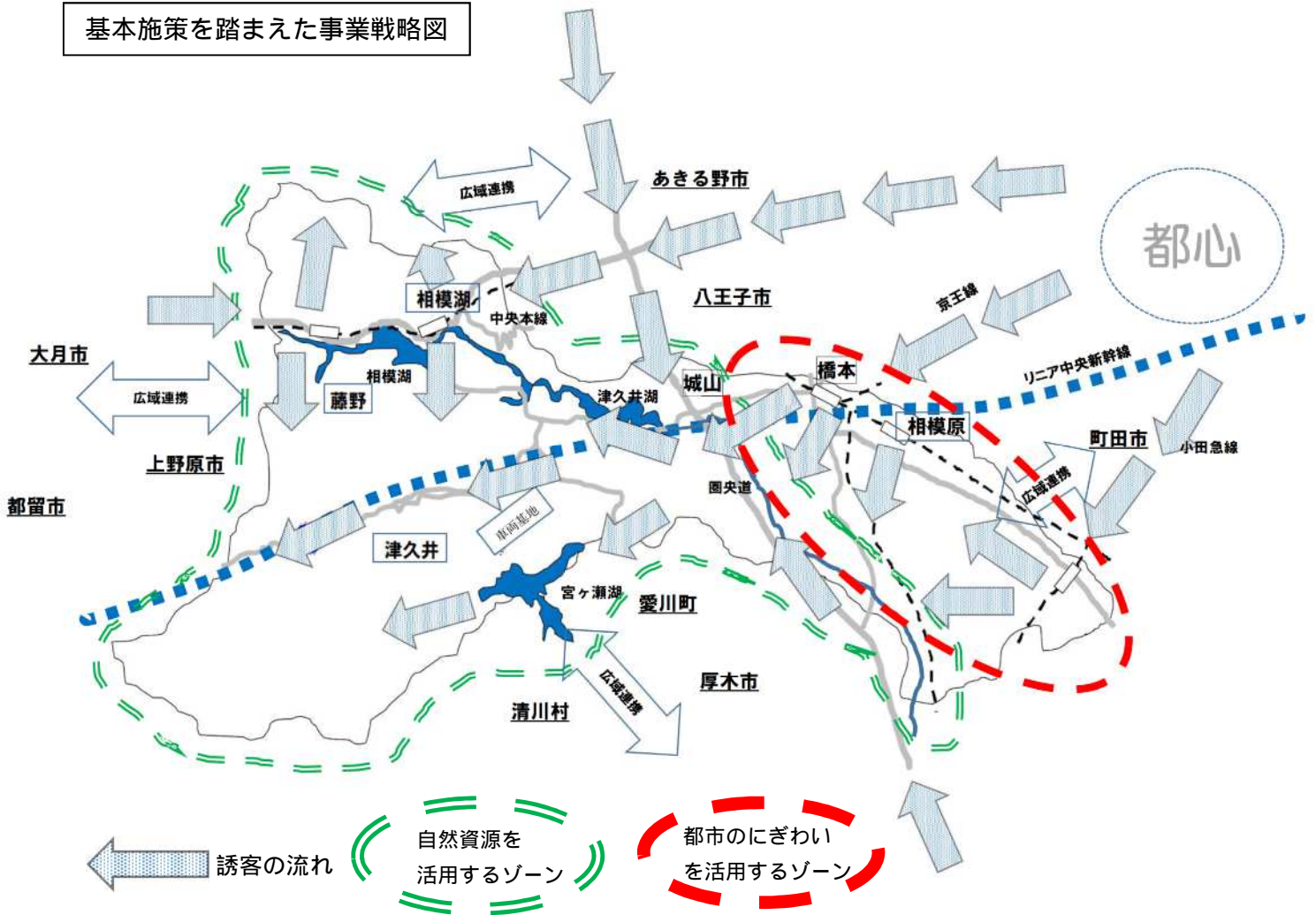
## 基本施策を踏まえた事業戦略

基本施策を展開するに当たり、大きく市域を2つのゾーンに区分し、本市へ訪れる人の流れを考慮した事業の展開を図ります。

相模原市に観光にぜひ行ってみたい、機会があれば行ってみたいと思う人の割合（相模原市への観光意欲度）を向上させることを念頭に、都心から近距離にある、首都圏の貴重な自然環境と豊富なアクセス手段を生かし、市内の魅力的な観光資源をPRし、誘客を図ります。

なお、情報発信に当たっては、ターゲットとする観光客の行動モデル（たびまえ たびなか たびあと）に合わせ、適切な情報発信を図るものとします。

基本施策を踏まえた事業戦略図



ターゲットに合わせた適切なSNSの選択による情報発信



関係団体・企業との連携によるネットワークの構築を図ります。

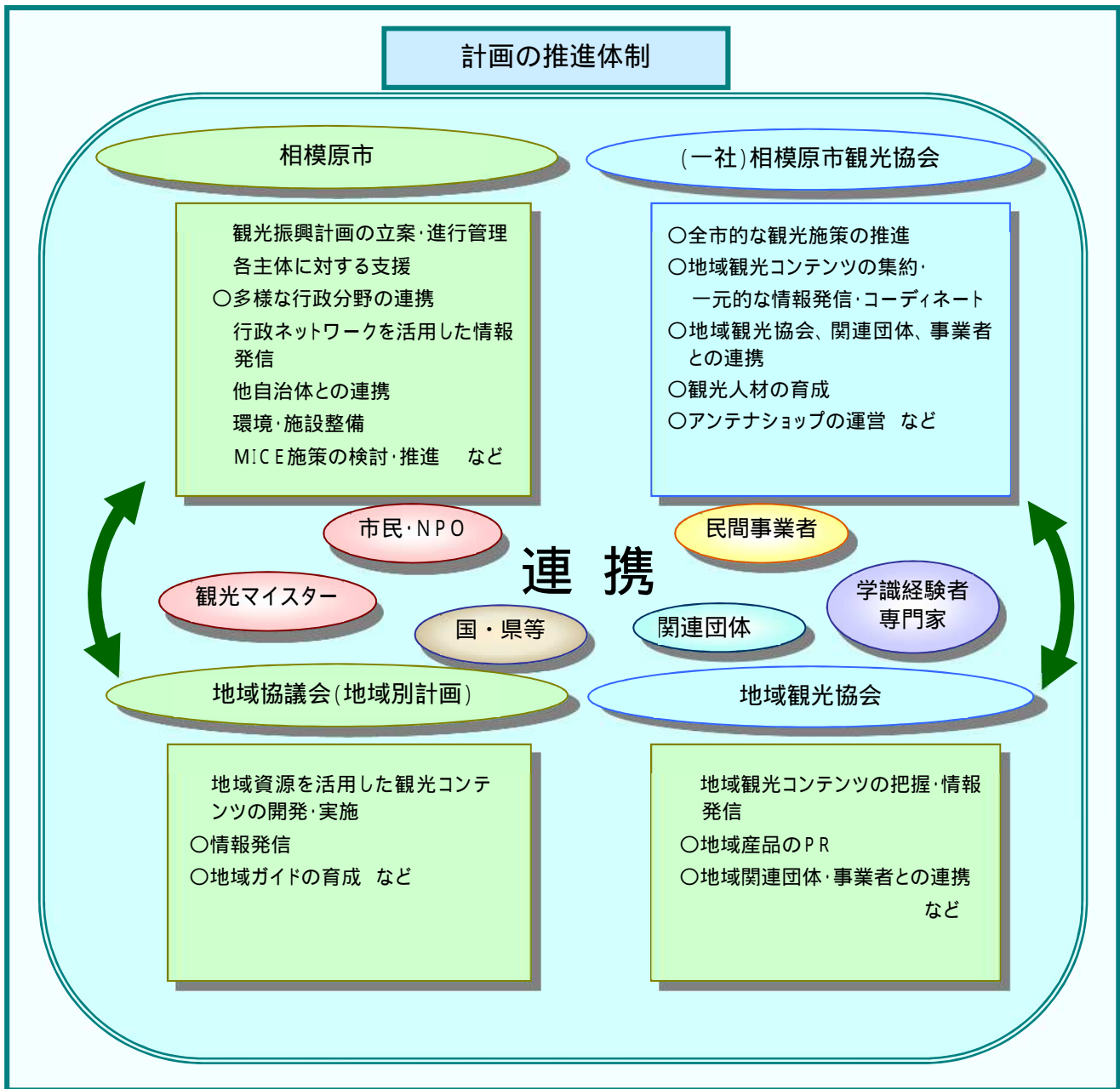


# 計画推進のために

本計画の推進に当たっては、市民、NPO、民間事業者、関係団体、観光協会及び行政がそれぞれの役割を担い、協働の認識の下で各施策を展開する必要があり、施策の効率的かつ効果的な事業展開を図る観点から、互いに連携しながら計画的に事業を推進します。

観光振興の基本となる企画立案、観光情報の収集発信など、全市的な取組が必要となる施策・事業については、市と一般社団法人相模原市観光協会が連携して全体的な仕組みづくりやコーディネート機能を担い、市民・NPOや民間事業者などとの協働により進めていきます。

あわせて、地域別計画を踏まえた市民等の自主的・主体的な取組を最大限発揮できる体制を構築します。具体的には、市と各地域の観光協会が中心となり、勉強会への講師の派遣、ワークショップの運営・実施、計画の立案などの分野で、積極的に支援し、事業の推進を図ります。





# 計画における指標

本計画における指標を次のとおり定めます。

指標	内容・出典	平成30年(実績) 基準年	令和9年(目標値)
観光意欲度 【プロモーションの効果 を計る指標】	相模原市に観光に「ぜひ 行ってみたい」、「機会 があれば行ってみたい」 と思う人の割合の合計  出典「地域ブランド研究 所 地域ブランド調査」	31.3%	40.0%
入込観光客数 (イベントを除く。) 【交流人口の拡大を計 る指標】	神奈川県入込観光客数調 査における相模原市の日 帰り客・宿泊客の合計値 (ただし、イベントを除 く。イベントによる年間 入込観光客数は約3,0 00千人)  出典「神奈川県入込観光 客数調査」	8,897 千人	12,000 千人
1人当たりの観光客 消費額 【観光による経済効果 を計る指標】	神奈川県入込観光客数調 査における相模原市の観 光客消費額  出典「神奈川県入込観光 客数調査」	1,257 円	1,500 円

### 第3次相模原市観光振興計画・概要版(案)

発行者 相模原市

神奈川県相模原市中央2丁目11番15号 電話 042-769-8236 (直通)

編集者 相模原市環境経済局経済部商業観光課